

6 . 1 . 5 景 観

1 . 主 要 な 眺 望 景 観

6.1.5 景観

1. 主要な眺望景観

(1) 調査結果の概要

① 主要な眺望点

イ. 文献その他の資料調査

(イ) 調査地域

主要な眺望景観の状況が適切に把握できる地域として、対象事業実施区域の周辺の可視領域とした。

(ロ) 調査期間

入手可能な最新の資料とした。

(ハ) 調査方法

既存資料により、眺望地点の位置及び利用状況に係る情報の収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

使用した文献等は、以下のとおりである。

- ・防府市の公式ホームページ
- ・やまぐち風景づくり特選（山口県、平成21年）
- ・防府市景観計画（防府市、平成24年）等

(ニ) 調査結果

調査地域における主要な眺望点の候補地点の位置は図6.1.5-1、その概要は表6.1.5-1のとおりである。

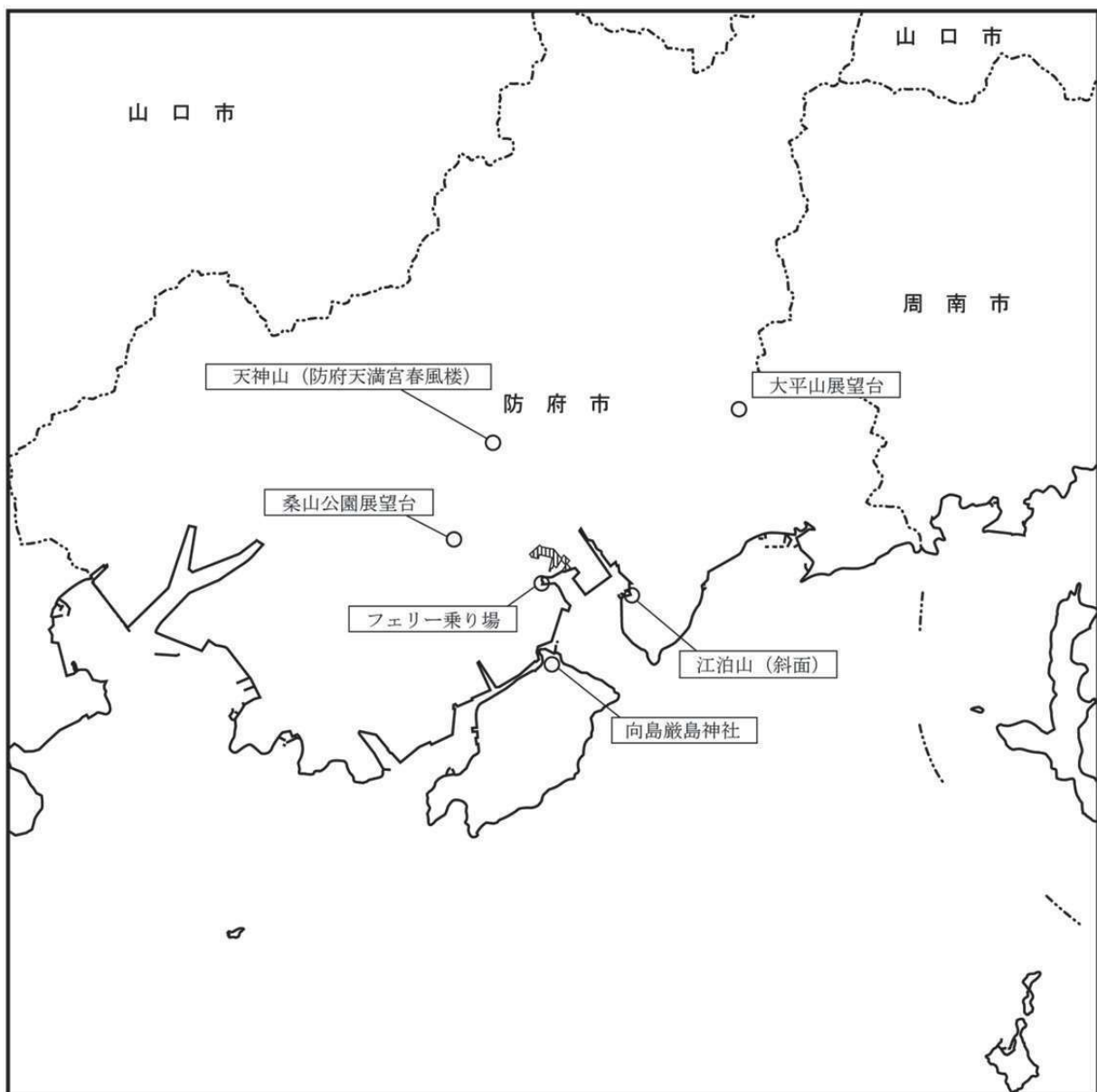


図 6.1.5-1 主要な眺望点の候補地点の位置

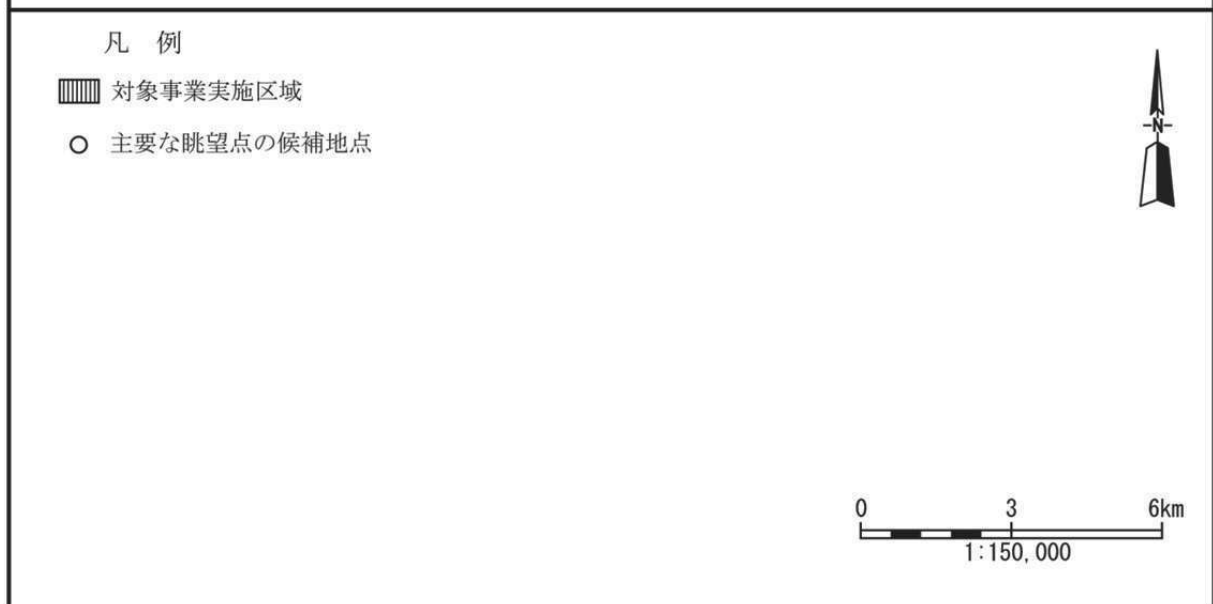


表 6. 1. 5-1 主要な眺望点の候補地点の概要

名 称	方 向 距 離	利用形態	周辺設備 の視認性	利用状況
大平山展望台	北東 約 5.0 km	レク	○	防府市最高峰大平山の山頂にある展望台から望む防府平野や、瀬戸内海に浮かぶ島々をゆっくりと眺めることができる。
天神山 (防府天満宮春風楼)	北西 約 3.0 km	観光	○	日本三天神の一つで防府市を代表する観光地、防府天満宮の背後にあたる天神山一帯に広がるこの公園は、春はウメ・サクラの名所として、その香りや彩りを楽しめる。
桑山公園展望台	西 約 2.0 km	レク	○	桑山は山全体が公園になっており、遊歩道がめぐり、四季を通じて豊かな自然が楽しめる。4 月には花見を楽しむ市民でにぎわう。
フェリー乗り場	南 約 0.5 km	生活	△	野島三田尻航路の発着港。 1 日 4 往復が航行している。
江泊山（斜面）	東 約 2.0 km	生活	○	三田尻中関港の東側に位置し、対象事業実施区域周辺が一望できる。
向島巖島神社	南 約 2.0 km	生活	○	毎年旧暦の六月十七日に十七夜祭が行われる。

注：1. 「方向」は対象事業実施区域から見た主要な眺望点候補地点の方向を、「距離」は対象事業実施区域の中心から主要な眺望点候補地点までの直線距離を示す。

2. 「利用形態」の内容は以下のとおりである。

観光：主に観光を目的として利用される地点

レク：主にスポーツ、釣り、海水浴等のレクリエーションを行うことを目的として利用される地点

生活：主に日常生活の中で利用される地点

3. 「周辺設備の視認性」は、現地踏査により確認した対象事業実施区域周辺の設備の視認状況で、その内容は以下のとおりである。

○：排気筒及び建屋が見える

△：排気筒のみ見える

出典：「防府市 HP（H27 年 12 月現在）等」より作成

(ホ) 主要な眺望点の選定

文献その他の資料調査で抽出した主要な眺望点の候補地点について、現地踏査により視認状況、視点場の利用状況を把握し、対象事業実施区域からの方向・距離等を考慮し、大平山展望台、天神山（防府天満宮春風楼）、桑山公園展望台、フェリー乗り場、江泊山（斜面）、向島厳島神社の6地点を主要な眺望点として選定した。

主要な眺望点の選定理由は、表6.1.5-2のとおりである。

表 6.1.5-2 主要な眺望点の選定理由

名 称	方 向 距 離	景観区分	選定理由
大平山展望台	北東 約 5.0 km	遠景	・発電所の全容が視認可能である。 ・山頂公園は、防府市のレクリエーションスポットになっている。
天神山 （防府天満宮春風楼）	北西 約 3.0 km	中景	・排気筒、建屋の一部の視認が可能である。 ・防府市を代表する観光地である。
桑山公園展望台	西 約 2.0 km	中景	・排気筒、建屋の一部の視認が可能である。 ・四季を通じて自然が楽しめる場所として利用されている。
フェリー乗り場	南 約 0.5 km	近景	・排気筒の一部の視認が可能である。 ・不特定多数の利用がある。
江泊山（斜面）	東 約 2.0 km	中景	・排気筒、建屋の一部の視認が可能である。 ・三田尻中関港の東側から計画区域を望む代表的な地点である。
向島厳島神社	南 約 2.0 km	中景	・排気筒、建屋の一部の視認が可能である。 ・不特定多数の利用がある。

注：1. 「方向」は対象事業実施区域から見た主要な眺望点候補地点の方向を、「距離」は対象事業実施区域の中心から主要な眺望点候補地点までの直線距離を示す。

2. 景観区分は、「景観工学」（日本まちづくり協会編、平成13年）に基づき、対象事業実施区域からの距離により区分した。

近景：約1 km以内、中景：約1～5 km、遠景：約5～10 km

ロ. 現地調査

(イ) 調査地域

主要な眺望景観の状況が適切に把握できる地域として、対象事業実施区域の周辺の可視領域とした。

(ロ) 調査地点

主要な眺望点として選定した6地点とした（図6.1.5-2）。

(ハ) 調査時期

平成27年2月20日：大平山展望台、天神山（防府天満宮春風楼）、
桑山公園展望台、江泊山（斜面）

平成27年10月13日：フェリー乗り場、向島厳島神社

(ニ) 調査方法

主要な眺望景観の状況について、現地踏査による目視確認及び視認状況の写真撮影を実施した。

写真撮影には、デジタル一眼レフカメラ(2,000万画素)を使用し、近景（フェリー乗り場）は広角レンズ18mmで、中景（フェリー乗り場以外の5地点）は標準レンズ50mmで撮影した。

(ホ) 調査結果

主要な眺望景観の状況は、図6.1.5-3 の上段のとおりである。

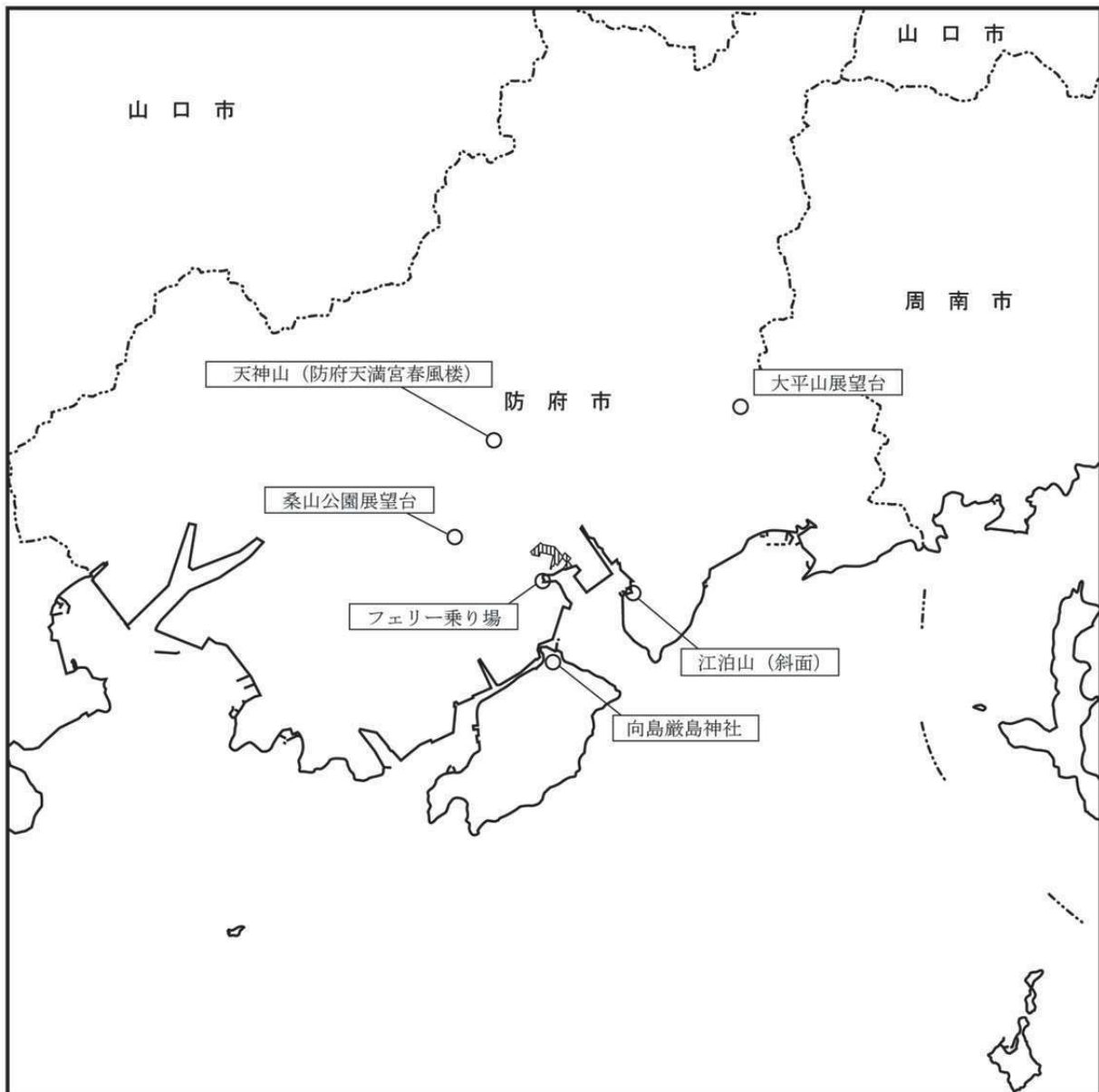
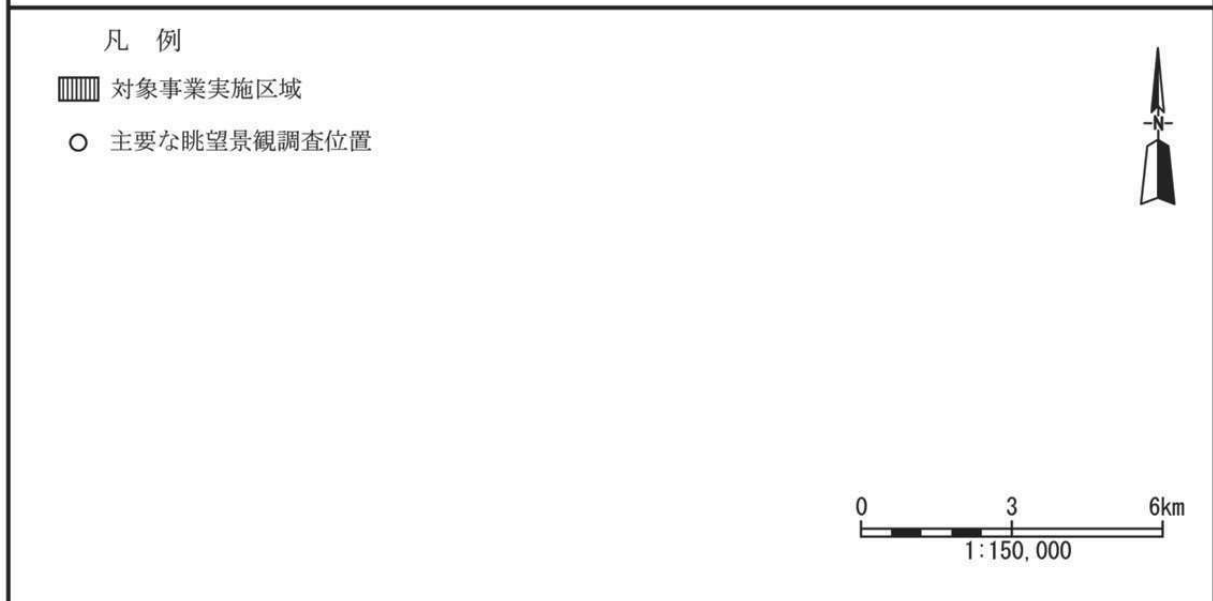


図 6. 1. 5-2 主要な眺望景観調査位置



(2) 予測及び評価の結果

① 土地又は工作物の存在及び供用

イ. 地形改変及び施設の存在

(イ) 予測方法

a. 予測地域

調査地域のうち、主要な眺望景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域とした。

b. 予測地点

主要な眺望点として選定した6地点とした（図6.1.5-2）。

c. 予測対象時期

建設工事が完了した発電所の存在時点とした。

d. 予測手法

フォトモンタージュ法により、コンピュータ・グラフィックスによる新設設備の完成予想図を現況写真と合成し、景観の視覚的変化の程度を予測した。

(ロ) 予測結果

a. 主要な眺望点及び景観資源

主要な眺望点及び景観資源への影響については、対象事業実施区域は造成済みの工場用地及び既存の港湾施設に限られていることから、直接的な影響はない。

b. 主要な眺望景観

主要な眺望景観のうち、フォトモンタージュによる予測結果は、図6.1.5-3下段のとおりである。各眺望景観の変化の状況は、以下のとおりである。

(a) 大平山展望台

大平山展望台からは眼下に発電所の全容が視認できる。

ただし、発電所までは約5km離れているため、景観写真上での発電所の存在に伴う見た目上の変化（面積比）は0.2%弱にとどまっており、視覚的变化はほとんどない。

加えて、眺望点から発電所は俯角6°付近となり、最も目につきやすい俯角10°付近にはあたらないことから、新たに設置する施設による眺望景観への影響は小さいものになると考えられる。

(b) 天神山（防府天満宮春風楼）

天神山（防府天満宮春風楼）からは防府市街地のビル越しに、発電所の建屋・排気筒が視認できる。

ただし、発電所までは約3km離れており、発電所施設の一部は手前の防府市中心部の市街地景観に隠れるため、景観写真上での発電所の存在に伴う見た目上の変化（面積比）は0.3%弱にとどまり、視覚的变化は小さい。

また、発電所周辺には既存の工場建屋・煙突等が存在し、新たに設置する

設備（発電所建屋・排気筒）も周囲の既存の設備と調和した形状・色調となるため、発電所の存在による眺望景観への影響は小さいものになると考えられる。

(c) 桑山公園展望台

桑山公園展望台からは発電所のほぼ全容が視認できる。

ただし、発電所までは約2km離れているため、景観写真上での発電所の存在に伴う見た目上の変化（面積比）は0.4%程度にとどまっており、視覚的变化は小さい。

また、発電所周辺には既存の工場建屋・煙突等が存在し、新たに設置する設備（発電所建屋・排気筒）も周囲の既存の設備と調和した形状・色調となるため、発電所の存在による眺望景観への影響は小さいものになると考えられる。

(d) フェリー乗り場

フェリー乗り場からは三田尻港大橋、対象事業実施区域に隣接する施設の煙突・建屋越しに、発電所の排気筒及び建屋のごく一部が視認できる。

発電所施設のほとんどは手前に位置する隣接施設の建屋・煙突によって隠れるため、景観写真上での発電所の存在に伴う見た目上の変化（面積比）も0.1%にも満たず、視覚的变化はほとんどない。

また、眺望点の前面には隣接施設の煙突が存在し、新たに設置する排気筒もこれら周囲の設備と調和した形状・色調となるため、発電所の存在による眺望景観への影響は小さいものになると考えられる。

(e) 江泊山（斜面）

江泊山（斜面）からは三田尻中関港（海面）越しに発電所の排気筒及び建屋の一部が視認できる。

ただし、発電所までは約2km離れており、景観写真上での発電所の存在に伴う見た目上の変化（面積比）は0.4%程度にとどまっているため、視覚的变化は小さい。

また、発電所周辺には既存の工場建屋・煙突等が存在し、新たに設置する設備（発電所建屋・排気筒）も周囲の既存の設備と調和した形状・色調となるため、発電所の存在による眺望景観への影響は小さいものになると考えられる。

(f) 向島厳島神社

向島厳島神社からは神社に隣接する民家の屋根越しに発電所の排気筒及び建屋のごく一部が視認できる。

ただし、発電所までは約2km離れており、発電所施設のほとんどは眺望点に隣接する民家等によって隠れるため、景観写真上での発電所の存在に伴う見た目上の変化（面積比）も0.1%にも満たず、視覚的变化はほとんどない。

また、発電所周辺には既存の工場建屋・煙突等が存在し、新たに設置する排気筒も周囲の既存の設備と調和した形状・色調となるため、発電所の存在による眺望景観への影響は小さいものになると考えられる。

【現状】



撮影期日：平成 27 年 2 月 20 日

【将来】



図 6. 1. 5-3 (1) 主要な眺望景観の現状と予測結果（大平山展望台）

【現状】



撮影期日：平成 27 年 2 月 20 日

【将来】



図 6. 1. 5-3 (2) 主要な眺望景観の現状と予測結果(天神山(防府天満宮春風楼))

【現状】



撮影期日：平成 27 年 2 月 20 日

【将来】



図 6. 1. 5-3 (3) 主要な眺望景観の現状と予測結果（桑山公園展望台）

【現状】



撮影期日：平成 27 年 10 月 13 日

【将来】



図 6. 1. 5-3 (4) 主要な眺望景観の現状と予測結果（フェリー乗り場）

【現状】



撮影期日：平成 27 年 2 月 20 日

【将来】



図 6. 1. 5-3 (5) 主要な眺望景観の現状と予測結果（江泊山（斜面））

【現状】



撮影期日：平成 27 年 10 月 13 日

【将来】



図 6. 1. 5-3 (6) 主要な眺望景観の現状と予測結果（向島厳島神社）

(ハ) 評価の結果

a. 環境影響の回避・低減に関する評価

予測結果によると、発電所の存在に伴う眺望景観への影響は小さいものと考えられる。

なお、発電所の計画されている防府市南部のエリアは「防府市景観計画」（平成24年5月）によると、景観形成の方針として「海岸沿いに広がる工業地帯は、本市の活力の象徴であり、緑地の充実などにより、周辺と調和した工業地景観の形成を図る」とされていることを踏まえ、発電所設備について、以下の措置を講じ、更なる影響の低減を図る。

- ・対象事業実施区域の一部は改変することとなるが、工事範囲を可能な限り抑え、緑地及び水辺の保全に努める。
- ・発電所建屋の色彩については、住宅地からの景観にも配慮し、発電所周辺の工場建屋の色彩等を踏まえて選定し、発電所の周辺環境との調和を図る。

これらの環境保全措置を講じることにより、発電所の存在に伴う眺望景観への影響は、事業者の実行可能な範囲で低減が図られるものと評価する。